

泉野の子

苫小牧市立泉野小学校
生徒指導部
第 6 号
令和 4 年 11 月 2 日

「いじめの把握のためのアンケート調査(後期)」

先月、後期の全校児童を対象とした「いじめの把握のためのアンケート調査」を実施しました。下記に前期結果と比較しながら後期の結果をお知らせします。

◇アンケート結果 (学校生活の中でいやな思いをしたことがあると回答した数)

	前期結果	後期結果
1年生	4名	16名
2年生	26名	29名
3年生	24名	21名
4年生	21名	26名
5年生	9名	14名
6年生	12名	7名

前期に比べると、「いやな思いをしたことがある子」が増加している学年が多いです(ひかり学級の後期結果は、各学年に併せて入っています)。全校的にみると、回答児童数406名の内、27.8%にあたる113名がストレスを抱えていることとなります。

「いやな思い」としては、前期同様に「ひやかしやからかい、悪口を言われる」「仲間外れや無視をされる」「ぶつかられたり、たたかれたり、けられたりする」という内容が多かったです。

1年生は学校に慣れてきたことで他者との関係性が深まり、結果として増加している部分があるかと思えます。4～5年生は思春期の入り口で心の細分化が始まり、他者との関係性に敏感になっている部分もあるかと思えます。

◇各学級での指導 ～個別懇談週間の取組～

前期同様に子どもたちの悩み解決に向けて、また子どもたちの自己肯定感や自己有用感を高めることで問題行動を未然に防ぐために、後期も各学級担任と学級の児童一人一人との個別懇談を進めています。

アンケートの結果を基に、悩みのある子には解決してあげられるように、今悩みがない子にはより前向きに学校生活が送れるように考えながら懇談を進めています。嫌な思いをしている理由を聞くことで解決に向けて話をしたり、日頃の行動を認め励ます言葉をかけるようにしながら、個々に対話しています。少しでも子どもたちの悩みやストレスを解消し、活動意欲を高める機会になっていたらよいのですが…。

各家庭におかれましても、お子さんとの日々の対話を大切にしていきたいと思えます。前期同様に児童が相談相手として頼りにしている存在は、「学校の先生」をおさえて、「お父さん・お母さん」が一番多い回答となっています。裏面のチェックシートを参考にしながら、お子さんの様子に目を向け、気になる部分がありましたら学校にも相談していただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

泉野小児童会スローガン

あいさつを
しよう

元気な
挨拶を!

「あいさつ」は大きな声で自分から!

保護者の皆さんへのお願い

子どもが抱えている問題を解決するためには、学校と保護者が共通理解を図り、協力して指導にあたることが大切です。場合によっては、学校から保護者の皆さんへご連絡を差し上げることもあるかと思えます。保護者の皆さんからも、何かお気づきの点がありましたら忌憚なくお知らせ願います。

保護者によるチェックシート[家庭で見せる子どものSOSのサイン]

- 1 学校の話題・友だちの話題が少なくなる。
 - 2 妹・弟をいじめるようになる。
 - 3 成績が急に下がる。
 - 4 話しかけても「ボーッ」として他の事を考えていることが多くなる。
 - 5 学校用品をなくしたり、壊したりすることが増えた。
 - 6 学校用品に落書きや破損の跡が見受けられる。
 - 7 親のお金に手を出すようになる。
 - 8 髪の毛が不自然に切られている。体に見慣れない傷・あざがある。
 - 9 投げやりで集中力が続かなくなる。
 - 10 食欲がなくなる。
 - 11 不眠が続く。または、寝ていてもうなされることが多い。
 - 12 微熱・吐き気・腹痛・頭痛を訴えることが多くなる。
 - 13 休みの日に親と外出したがらなくなる。
 - 14 言葉遣いが乱暴になる。
 - 15 表情が暗くなり、言葉数が少なくなる。
 - 16 友だちが急に遊びに来なくなる。
 - 17 ため息が多くなり、親と目を合わせるのを避けるようになる。
 - 18 今までと雰囲気の違い友だちと付き合うようになる。
 - 19 妙に暗くなったり、急にカッとなったりする。
 - 20 「引っ越ししたい」「転校したい」と言うようになる。
-

**チェックが多くなるほど、気を付ける必要があります。
気になることがありましたら、学校にご相談ください。**